



# まきのほら 市議会だより

第6号

平成19年5月発行

発行／牧之原市議会  
編集／議会広報特別委員会



さあ、私らの出番！きっちゃかにやらまい！



今年も色あざやかに咲いた  
勝間田公園のコバノミツバツツジ

## \*も く じ\*

- 2月定例会の報告 ..... 2～4
- 一般質問 ..... 5～14
- 委員会の報告 ..... 14～15

# 強い意志

2月  
定例会

158億5,000万円を可決

## 平成19年第2回牧之原市議会定例会

会期2月26日から3月23日（26日間）

今回の定例会は、平成19年度一般会計当初予算をはじめとした各会計予算、牧之原市相良総合センター条例の制定などの議案が提出され、連合審査会、また各常任委員会の慎重な審査を経て、原案どおりすべて可決されました。

なお、一般質問は13・14・15日の3日間行われ、17人が市長の施政方針や、当面する課題について見解をただしました。

### 決定した予算・条例等

○東遠広域施設組合規約の一部を変更する規約について  
〔全員可決〕

○平成18年度牧之原市一般会計補正予算（第4号）  
〔全員可決〕

○平成18年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
〔全員可決〕

○平成18年度牧之原市老人保健特別会計補正予算（第1号）  
〔多数可決〕

○平成18年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）  
〔全員可決〕

○平成18年度牧之原市土地取得特別会計補正予算（第2号）  
〔全員可決〕

○平成18年度牧之原市水道事業会計補正予算（第1号）  
〔全員可決〕

○御前崎市牧之原市学校組合規約の一部を変更する規約について  
〔全員可決〕

○駿遠学園管理組合の共同処理する事務の変更及び規約変更について  
〔全員可決〕

○相寿園管理組合規約の一部を変更する規約について  
〔全員可決〕

○牧之原市知的障害者（児）等福祉施設条例の一部を改正する条例  
〔多数可決〕

○指定管理者の指定について（牧之原市こづつみ作業所）  
〔多数可決〕



# 行政改革へ

## 平成19年度 一般会計予算

平成19年度牧之原市の予算

| 会計別          |              | 予算額         |            |
|--------------|--------------|-------------|------------|
| 一般会計         |              | 158億5,000万円 |            |
| 特別会計         | 国民健康保険特別会計   | 52億4,800万円  |            |
|              | 老人保健特別会計     | 38億2,817万円  |            |
|              | 介護保険特別会計     | 31億1,826万円  |            |
|              | 土地取得特別会計     | 6,210万円     |            |
|              | 農業集落排水事業特別会計 | 1,166万円     |            |
| 合計           |              | 281億1,819万円 |            |
| 企業会計<br>水道事業 |              | 収入          | 支出         |
|              | 収益的          | 11億313万円    | 10億8,366万円 |
|              | 資本的          | 1億1,242万円   | 4億723万円    |

○指定管理者の指定について  
(牧之原市第2こづつみ作業所)  
〔多数可決〕

○平成19年度牧之原市一般会計予算  
〔多数可決〕

〈反対討論〉  
諸収入欄に、住宅資金貸付金未払い分の改修目標額を計上して、財政健全化に努力すべきだ。  
榑林憲樹議員

水道負担金など過剰な契約水量により、市の負担が増えている。  
浄化槽設置の補助率を是正すべき。  
職員給与の一部カットは妥当ではない。  
大石和央議員  
特別職報酬カット、一般職

員給与カット等、歳出は極限まで抑えられ、健全を目指す予算にふさわしく賛成する。  
田村兼夫議員  
厳しい財政状況、限られた予算の中で創意工夫を凝らし、21世紀を担う子どもたちのために、教育・福祉施設の耐震化等に重点を置いた予算として評価する。  
増田 仁議員

○平成19年度牧之原市国民健康保険特別会計予算  
〔多数可決〕

〈反対討論〉  
国保会計への国の負担率は45%から37・5%に引き下げられたままだ。改善の努力を続けよ。  
榑林憲樹議員

〈賛成討論〉  
厳しい財政の中で、過去の医療実績に基づき編成されたことで妥当と考える。  
中山 香議員

○平成19年度牧之原市老人保健特別会計予算  
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市介護保険特別会計予算  
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市土地取得特別会計予算  
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市農業集落排水事業特別会計予算  
〔全員可決〕

○平成19年度牧之原市水道事業会計予算  
〔多数可決〕

○牧之原市防犯及び交通安全に関する条例の制定について  
〔全員可決〕

○牧之原市相良総合センター条例の制定について  
〔全員可決〕

○相良町児童（特別）福祉手当支給条例を廃止する条例の制定について  
〔全員可決〕

○牧之原市特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について  
〔全員可決〕

○牧之原市教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定について  
〔全員可決〕

○牧之原市職員の給与の特例に関する条例の制定について  
〔多数可決〕

### 〈反対討論〉

「財政状況を考慮する中での特例な事情」には当たらず、手続き上にも問題がある。

糸田幸一議員

### 〈賛成討論〉

市長自らが給与カットをす

る姿勢に対して、職員自身も給与カットに理解を示してくれたとして賛成する。

増田 仁議員

○牧之原市企業職員の給与の特例に関する条例の制定について  
〔多数可決〕

### 〈反対討論〉

「牧之原市職員の給与の特例に関する条例の制定について」の討論と同じ理由で反対する。

糸田幸一議員

○牧之原市技能労務職員の給与の特例に関する条例の制定について  
〔多数可決〕

### 〈反対討論〉

「牧之原市職員の給与の特例に関する条例の制定について」の討論と同じ理由で反対する。

糸田幸一議員

○牧之原市職員の給与の特例に関する条例の制定について  
〔多数可決〕

### 〈賛成討論〉

「牧之原市職員の給与の特例に関する条例の制定について」の討論と同じ理由で賛成する。

増田 仁議員

○牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
〔多数可決〕

○牧之原市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例  
〔全員可決〕

○牧之原市分担金徴収条例の一部を改正する条例  
〔全員可決〕

○市道路線の廃止について  
〔多数可決〕

○市道路線の認定について  
〔多数可決〕

○静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更について  
〔全員可決〕

○榛原総合病院組合規約の一部を変更する規約について  
〔全員可決〕

## 総括質疑

### 《主な質問内容》

問 特別職から職員までの給与カットの理由と経緯、また、一般職員との合意形成について。

答 厳しい財政の中で、市民の皆さんと痛みを分かち合うこ

と、また、職員の意識改革が必要と考える。

まず、部課長へ理解を求め説明し、各課へ持ち帰り職員

の理解を求めた。

問 公立幼稚園の保育料値上げのいきさつと、市民の理解について。

答 私立幼稚園との保護者負担の格差是正のため、また、料金は利用者にとって安い方が良いが、値上げは妥当な範囲と考える。

### 平成19年第1回 牧之原市議会臨時会

平成19年1月22日に開催し、議員発議により産業振興特別委員会の設置を可決しました。

また、東遠工業用水道企業団議員を選出するための選挙を行い、次の2人を選出しました。

○大鐘俊英 議員  
○増田 仁 議員

# 一般質問

## 質問者及び質問事項（通告順）

### 1 鷺坂隆夫 議員 (P6)

- ①身障者用トイレ案内板の整備を
- ②予防医療につながる生き甲斐事業の取り組みを

### 2 川島啓司 議員 (P6)

- ①スズキ㈱の進出に絡んでのまちづくりを
  - (1) 牧之原市内にある県立高校を専門課程のある高校へ
  - (2) 住宅地・商工業用地の確保は

### 3 鈴木千津子 議員 (P7)

- ①市長任期中の3年間の財政健全化目標は
- ②牧之原茶の販路拡大について

### 4 樽林憲樹 議員 (P7)

- ①財政運営の問題点をたず

### 5 桑田幸一 議員 (P8)

- ①民営化で保育が良くなるか
- ②ごみ減量で子育て支援の拡充、一市二制度の見直しを

### 6 田村兼夫 議員 (P8)

- ①今、なぜ報徳精神か
- ②中期財政計画を策定し、市民に示すべきだと思うが

### 7 名波富幸 議員 (P9)

- ①入札制度の改革を急いで

### 8 中野康子 議員 (P9)

- ①市営住宅・民間賃貸住宅のあり方と、住宅マスタープランの策定について
- ②牧之原地区の救急体制について
- ③都市計画のあり方について

### 9 太田佳晴 議員 (P10)

- ①公共施設の耐震補強と新築工事について

### 10 中山 香 議員 (P10)

- ①バイリンガルの加配とプレスクールの設置を

### 11 松浦 毅 議員 (P11)

- ①市長のコメントに一言

### 12 本杉光雄 議員 (P11)

- ①農業振興地域整備計画の総合見直しについて
- ②「まちづくり専門研修」について

### 13 大鐘俊英 議員 (P12)

- ①職員の提案制度について
- ②観光・スポーツの誘客の取り組みは

### 14 鈴木正樹 議員 (P12)

- ①牧之原市の風力発電設置と景観及び自然環境保護について
- ②牧之原市の入札制度について（第2弾）
- ③袋井市の突風被害の教訓を今後どう生かすのか

### 15 大石和央 議員 (P13)

- ①議会中継をインターネットで
- ②静岡空港問題
- ③浜岡原発プルサーマル問題

### 16 鈴木勇次 議員 (P13)

- ①空港開港に向けた具体策を
- ②光ファイバー通信の実現を

### 17 笠原恒彦 議員 (P14)

- ①牧之原市大使の委嘱について
- ②コミュニティバスの運行について

※各質問議員の質問内容と答弁要旨は、  
抜粋して次ページから掲載しました。  
( 〇 の部分)



鷺坂隆夫 議員

### 身障者用トイレ案内板の整備を

**問** 家族と姉妹の介護外出できる程回復した姉を連れて、昨年の秋、久し振りに旅行したところ、尿意を訴えてからトイレを探すのに手間取り苦労した。体験してみても気が付いた事だが、案内看板が設置されていれば車で走っていて見つけることができると感じた。

牧之原市には、障害者用トイレが全部で65箇所あるという。相良・榛原両庁舎にも施設はあるが、トイレ表示は施設の扉にあり、休日は利用できない。

①道路標識や公共施設案内看板に、トイレ表示はできないか。  
②外部から利用できるトイレの整備は考えているか。  
③空港が開港すれば、牧之原市を訪ねてくる人が増える。安心してトイレを探ることができるように考えていくのか。

**答** ①公共施設にも、今後、市民の福祉の向上を図るため、

オストメイト(人工肛門保有者)等にも対応できるトイレを検討します。

②外部トイレは、地頭方海浜公園や多目的公園等に整備されているし、管理上の問題もあるのと考えていません。

③空港が開港されれば、道路標識等に外国語も併記されると聞いています。県の空港部にも検討を要望していきます。

(市長)

### 予防医療につながる生き甲斐事業の取り組みを

**問** 経験豊かな方の技を活用して、予防医療につながる生き甲斐事業に取り組んでほしい。

**答** 市でも高齢者の健康維持事業は各方面で実施しています。

健康で、感謝され、役割を持ち、できたら少しでも対価で評価があればもっと良い。シルバ1人材制度を充実させることも必要かと思えます。(市長)



川島啓司 議員

### スズキ株の進出に絡んでのまちづくりを

これからの牧之原市として目指すものは、「にぎわいのあるまちづくりをしていくこと」であり、スズキの進出に絡めて、「今がまちづくりのチャンス」という観点から質問をする。

### 牧之原市内にある県立高校を専門課程のある高校へ

**問** スズキだけではなく、市内中小企業への就職者を確保するために、また、市内にある榛原総合病院へ看護師を送ることも考えて、現在ある県立高校へ工業課程・看護師養成課程を併設し、専門課程のある学校として誘致する考えはないか。

**答** 県の教育委員会では、平成27年度までの県立高校再編計画には入っていないが、技術者の確保は必要であり、スズキの誘致に成功した牧之原地域は周辺地域や県からも今後の飛躍

が大いに期待されています。

今後の人口増の状況や専門課程への進学希望動向を見て、看護科・工業科についても必要であれば誘致していきたいと考えています。(市長)

### 住宅地・商工業用地の確保は

**問** 農地法や農振法により守られている農地だが、住宅地や商工業用地を確保するために農振除外の申請をして、農地を宅地にできるよう働きかける考えはないか。

**答** 将来を予測した工場用地や住宅用地では、農振除外は認められないので、開発希望者から具体的な土地利用計画が出された段階で、検討していきたいと考えています。(市長)



相良地域の土地利用計画図



鈴木千津子議員

### 市長任期中の3年間の財政健全化目標は

**問** 合併した事によって、財政は以前よりかなりゆとりが出るのではないかと期待したが、そんな甘いものではなかった。具体的には、係数的にイエローカードの状況だ。合併後の起債も若干増えている。

**答** 合併しても財政にゆとりはありません。私の財政健全化の目標は、①黒字基調への転換。②予算配分の重点化・効率化。③自主財源の確保、公債費負担適正化計画の進捗管理を確実に実施し、将来の展望が見通せるよう基礎を築きたい。

(市長)

### 牧之原茶の

### 販路拡大について

**問** ①良質のお茶を作る為のほ場の整備は、どの程度進ん



お茶ののぼり旗は、いろいろなイベントで活用

でいるのか。  
②ピンクの「のぼり旗」の効果はどのようにとらえているか。  
③思い切った発想の転換をして、販路を拡大するべきだと思う。

**答** ①茶園2,590haのうち、ほ場整備された茶園は4%程度と低く、基盤整備が進まない要因の解消を図るためにも、受益者負担割合を10%に引き下げる分担金徴収条例の一部改正をお願いしています。

②のぼり旗は1,000本用意してイベントなどに使い、知名度アップにつながったと認識しています。

③お茶の消費拡大については、PRの方法等、茶業会議所等の連携により進めていきます。

(市長)



樽林憲樹議員

### 財政運営の問題をただす

**問** 国保税の負担に耐え得ず滞納する世帯も多いと聞きますが、市の国保財政の現状はどうか。

**答** 国保に加入している9,500世帯中、短期被保険者証の交付は376世帯、資格証明書の交付は146世帯です。不公平にならないよう、適正に運営しています。

(市長)

**問** 「ふるさと水と土基金」の残高、約1,500万円を取り崩して、基金目的に沿った事業に役立てるべきと思うが、どうか。

**答** 自然環境保全活動など、国の新規事業と連携した活用を検討します。

(市長)

**問** 住宅資金貸付金元利約8,500万円の、回収対策はどうか。

**答** 回収できない理由にはいくつかのケースがありますが、滞納者47人中30人に文書で催告しました。



国保の保険証や、短期保険者証など(見本)

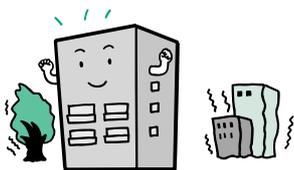
19年度中に必要な調査を完了し、欠損処分の検討をするともに、収納に努力して、滞納額の圧縮を図っていきます。

(市長)

**問** 園舎など、耐震構造への建て替え資金に「市債」を公募して充てる考えはないか。

**答** ミニ公募債は、発行に係るコストを要するので、耐震化事業には合併特例債を充当して進めます。

(市長)





桑田幸一 議員

### 民営化で保育がよくなるか

**問** 各地で公立保育園の民営化が問題となっている。

- ①なぜ新築園のみ民営化か。
- ②保育の質は低下しないか。
- ③職員の処遇については。
- ④公立園の内容充実を図るべきでは。
- ⑤関係する職員・保護者・地域住民は5割以上になる。幅広い議論が必要ではないか。

**答** ①「民間にできる事は民間に委ねる」という考えです。実施設計段階から、民間に係わっていただく予定です。

②公私立を問わず、国の基準に沿って行うので、質は保たれます。

③正職員は、他の公立園への異動や、子育て支援事業の充実に活用したい。嘱託職員は、希望があれば民間に正職員として採用してもらえよう、移転先法人公募の条件としたい。

④公民が磨き合い、良い環境を作っていくことが双方にとって良いことです。

⑤民営化については、保護者や地区関係者の理解を得ながら円滑な推進を図ります。(市長)

### ごみ減量で子育て支援の拡充、一市二制度の見直しを

**問** ごみ減量が緊急の課題となっている。燃えるごみ3割減量を、2010年までに。

- ①子どもたちの参加は。
- ②一市二制度の見直しは。

**答** ①「雑紙減量大作戦」を市内全校で取り組みたい。

②第二次ごみ処理広域化計画策定を進めています。県との協議の中で、二市一町で対応していくよう準備を進めており、一市二制度を解消する足掛かりとしたいと考えています。(市長)

### 今、なぜ報徳精神か



田村兼夫 議員

**問** 市長は施政方針で、精神的基盤を報徳の教えに置くむね表明されているが、その理由は何か。

**答** 尊徳は「勤労・分度・推譲」を唱えました。現代風に解釈すれば、勤労は企業誘致、定住人口の増加であり、分度は歳入に見合った歳出、規模に合った行政であり、推譲は農業投資を一部工業に回したり、工業の利益を福祉や教育に回すことです。

今の社会を見ると、社会的規範を率先して守るべき企業、団体、職種の人たちの反社会的行為は目を覆うばかりであり、また、児童虐待や子どもによる親殺しなど、昔では想像だにできないことが頻発しています。

この人心の乱れを正すために、そして真の幸福を実現するためには、何らかの精神的基盤が必要であると考えました。



三つの教えの一つ「勤労」

明治時代から、遠州一円は報徳運動が盛んであり、掛川には大日本報徳社もあります。また、本市内でも報徳活動の偉大な先人の足跡が、随所に見受けられます。与えられた物に感謝し、丁寧に使い、使い切った時には、また他の材料として使うといった雑紙作戦など、まさに報徳精神そのものであります。

歴史的にかかわりが深く、誰でも容易に受け入れることができるかと考え、報徳の考えを精神的基盤に据えました。

(市長)



公立保育園の民営化問題は、いま市民のいちばんの関心事



名波富幸 議員

### 入札制度の改革を急いで

**問** 行政改革と共に財政健全化を図る中で、市民の関心の高い公共工事の入札契約、随意契約、業務委託について、市長の考えを問う。

入札制度改革を行った市町では、平均落札率が65%～85%に下がったが、当市では約97%と高どまりだ。早急に公平公正な入札制度の改革をすべきと考える。

平成18年度に、10万円以上の随意契約は525件、契約金額で約8億3千万円である。一定金額以上は審査委員会で精査されるが、それ以下は担当課の責任で、発注、決裁がされている。チェック機能を強化すべきだ。また、業務委託は約8億7千万円と高額だ。同じ業務が各課個別に発注、決裁がされている。できる業務から集中管理すべきだ。

**答** 確かに当市の落札率は高どまりです。国や県からも改

革の指示があるので、業者間の競争意識を高め、談合防止を図る事から、入札契約制度に向けて制限付一般競争入札の対象範囲を広げていきます。

指名業者格付基準も、工事成績やエコアクション21の認証取得、災害時応急対策、障害者雇用等の評価点を加えます。指名停止等の場合は、大幅な減点になります。

総合評価方式も研究を始め、平成19年度から試行的に取り組みます。また、電子入札も数年後を視野に入れて導入を検討していきます。

随意契約による業務委託については、金額も高額であり、民間の管理方式に習って一括集中方式に改めていきます。

入札契約や随意契約の改革は、業者や担当者の意識改革を図ると共に、その社会的責任を理解してもらい、落札率の低下が見込める対策を検討していきます。

(市長)



中野康子 議員

### 牧之原地区の救急体制について

**問** 牧之原台地には四市が接している。いずれの地域も病院や消防署から遠隔地にあり、救急医療の面から不安がある。広域救急の拠点を早期に整備されたい。

また、体制が整うまでの間は、管轄外の消防署から、応援救急が受けられるように出来ないか。

**答** 4月から牧之原警察署萩間南駐在所跡地に救急車一台、救急隊員3名を配備し、管轄区域内の救急医療体制の迅速化を図ります。

富士山静岡空港や東名高速道路などの救急医療体制を考えたとき、牧之原地区は、県が策定する消防広域化推進計画では拠点となる地域だと思えます。

消防広域化が実現するまでは、消防署から遠隔地の牧之原地区、勝間田地区を管轄する吉田町牧之原市広域消防に対して、救急

医療への対応を要望していきます。(市長)

### 都市計画のあり方について

**問** 榛原地区、相良地区の都市計画の整合性の観点から、牧之原地区、東名牧之原インター周辺の都市計画のあり方を見直す考えはないか。

**答** 現在、相良地区が全域都市計画区域であるのに対して、榛原地区の東名高速道路以北が区域外となっており、新市の一部で土地利用の形態が異なることが懸案となっています。

市としては、市全域を都市計画区域に拡大する必要性があると考えています。このため、平成21年春の空港開港に沿って、県関係部署との協議を進めています。(市長)



女神に新設された消防署の救急隊待機所



太田佳晴 議員

### 公共施設の耐震補強と 新築工事について

**問** 保育園及び幼稚園の耐震化・建替え、小学校体育館の耐震補強工事が順次計画されているが、どのように設計・施工をしていくのか、その理念を問う。

①地球温暖化への配慮から、自然循環型材料である木材の利活用を、最大限考えるべきと思うが、どのように考えるか。  
②保育園等の施設整備において、行政コストを下げるためや、保育ニーズの変化に対応するために、省エネ対策・間取り等はどうのように考えているのか。  
③体育館については、地域コミュニティの拠点としての位置付けも考え、さらに、災害避難時の住環境に配慮した工事が必要と思うが、どのように考えているのか。

**答** ①自然環境にやさしく、子どもにも優しい環境を与え



木をふんだんに使った牧中体育館

る木材の使用を、積極的に取り入れていきたいと考えています。  
②省エネ効果が期待できる園舎の配置や、保育ニーズの変化に対応できる間取りを、保護者や保育士の意見も取り入れながら、設計して行きたいと考えています。  
③明るさ・潤いのある環境の確保のために、可能な限り木材を使用し、トイレはすべて洋式に改修するなど、避難所としての環境面にも配慮します。

(市長)



中山 香 議員

### バイリンガルの加配と プレスクールの設置を

**問** 大手企業の事業拡大とグローバル企業進出により、今後、様変わりしていくであろう市の将来像が、一番の関心事になっている。

今後、2千人とも3千人とも言われる労働力の増加に伴い、外国人労働者の子どもたちが今以上に市内小中学校に増えていく可能性は大と考える。

一人ひとりが育った生活環境も、日本の生活スタイルへの理解も、日本語の理解力もバラバラな外国人の子どもたちと日本人の子供たちを、同じ教室で同じ学校でどう対応していくのが問題（話題）となっている。一昔前なら、ひと稼ぎして母国に帰っていたが、南米地域が不況で仕事がない。日本で育つために母国語が話せず、生活が困難といった理由から、日本に定住する外国人が増えている。



ことばの障壁を取り除くことが先決問題

市として教育委員会として、こうした状況をどの程度予想し準備しているのか伺う。

**答** 現在、細江小学校でのみ、文科省予算で母国指導協力者2人、教育推進コーディネーター1人により、指導を行なっています。

今後の対応策として、学区を越えた日本語教室の設置、バイリンガル（2カ国語を話せる人）や指導協力者が集中指導体制が取れるセンター校（プレスクール）の検討も考えています。  
県教育委員会からの情報や、先進地視察を通して、教育支援対策を早急に進めてまいります。  
(教育長)



松浦 毅 議員

### 市長のコメントに一言

**問** 新春の初顔合わせにおいて配布された市長のコメント

によると、当市の実質公債費の現状について、市民に詫びるとともに、「市民にも責任の一端はある」とコメントしている。

私が思うに、これらの責任は市民ではなく、バブルがはじけ全国の各自治体は長い暗いトンネルに入り、地方交付税も大きく減額され、国策としての地方分権は自立が求められ、三位一体の改革も功を奏せず、現在の状況に至ったものと思っている。

さらに当市においては、県の陸・海・空の大プロジェクト事業があり、空港ひとつとっても、旧榛原町予算の一年分に相当する額を将来に向けて投資負担している。

今やこれらの投資により、県の玄関としての事業が完成しつつあり、これによる大きな企業進出も生まれ、当市における先

の明るさもはつきり見えてきている。

これは、市民の将来に向けての協力と我慢が作り出したものである。実質公債費増は市民責任でなく、将来に向けての投資事業によるものである。市長の考えはどうか。

**答** 将来に向けての陸・海・空の県事業は、市民のみならずの協力により、順調に良い方向に進んでいます。

新春の初顔合わせでのコメントについては、議員の発言のとおりで私も思っています。文書の内容において、誤解を与えてしまったことについては反省しています。公の場に出す文書については十分チェックしてまいります。

(市長)



本杉光雄 議員

### 農業振興地域整備計画の総合見直しについて

大規模な開発行為や宅地造成等、農地法・農振法に係わる部分で山間地の変貌が予想されるが、どのように取り組むのか。

**問** 農地流動化への取り組みは。

**答** 現在、農業振興地域整備計画に基づいて、総合計画や国土利用計画をはじめ農業関係の各種振興計画との調整を図り、10年間を見通した農業の振興方針を定めています。市では19年度に定期変更を実施し、旧二町の計画を統合し、牧之原市としての計画を策定していきます。

市でも農地流動化を図るために、隣接地を所有、或いは耕作している担い手農業者に、一定基準以上の年数で農地を貸した農業者に対して、市独自で奨励金を支給する事業を19年度から実施します。

(市長)

**問** 集約される雨水・排水への対応、治水事業への取り組みは。

**答** 開発行為には、土地利用・都市計画法等によって指導しています。

また、事業の施行に当たっては、下流域に浸水被害が生じないように、雨水の流域計算や調整池の設置、下流の排水断面が不足の場合は、その排水路の改修等を指導しています。

更に、農地転用の申請があった場合は、庁舎内の関係部署において申請書類を確認し合いながら、現状に対して不都合がないかの確認作業を行って、雨水・排水の対応をしております。

(市長)

### 「まちづくり専門研修」について

**問** 施政方針で示されたが、内容と進め方は。

**答** 市民協働キャラバン隊視察研修として位置づけ、人材育成を官民挙げて行うことで、市の基本方針遂行に向けて、積極的に取り組んでまいります。

(市長)



大鐘俊英 議員

### 職員の提案制度について

**問** 職員の資質向上は重要であり、今まで以上に取り組みなくてはならない。

その一つとして、牧之原市には職員提案制度があるが、今までにどの様な提案が出され、成果は上がったのか。

また、職員の資質向上に向けて、今後、どの様な取り組みを考えているのか。

**答** 職員提案制度は、昨年11月に1ヵ月間提案の募集をし、28件の提案がありました。職員提案審査会の結果、基準点以上の提案はありませんでした。

今後は、より提案しやすい環境や、職員の向上心を高める制度への改革を検討します。

また、より多くの職員を表彰し、職員のモチベーションを高め、資質向上と意識改革を進めてまいります。

(市長)

### 観光・スポーツの

### 誘客の取り組みは

**問** 観光とスポーツを一体化した取り組みについて、どの様に考えているのか。

また、スポーツ等の国際大会開催の誘致についての考えは。

**答** 各種スポーツ大会が開催されることは、市の活性化が図られ、経済効果をもたらすものです。

行政としても、使用料の減免、備品の貸し出し、また、ホームページや広報紙への掲載をはじめ、市側から延べ70人位の協力をさせていたいております。

また、国際大会については、各団体や県の体育組織等の意見を聞きながら、前向きに検討してまいります。

(市長)



全国規模で開かれた、3月の私学高校女子ソフトボール大会  
(静波グラウンド)



鈴木正樹 議員

### 牧之原市の 入札制度について(第2弾)

**問** 市長の入札制度の取り組み姿勢を訊きたい。

**答** 公平公正な入札制度に向けて、制限付一般競争入札制度の見直しを行い、現行対象額1億円以上の額を引き下げ、19年度から一部実施します。

広く入札参加者へ門戸を開き、業者間の競争意識を高めながら、談合のしにくい、透明性のある入札制度作りに努めます。

(市長)

**問** 工事発注基準では資料が無く、発注工事の金額的規模か発注物件数等を対象にするのか。

**答** 平成14～16年度の過去3年間の、250万円以上の発注物件数を対象にしました。

(市長)

**問** 談合防止の適正な執行に努めるために、何を基準として業者のランクを定めたのか。

**答** 周辺市町の状況を調査し、旧両町の基準と照合し、工事発注状況データ等も考慮し、4業種をランク付けの旧相良町の基準を基本に見直しました。

(市長)

**問** 2年間の工事成績を加味した総合点数は、どのような内容項目で決めるのか。

**答** 18年度は、15・16年度に旧町の検査監が実施した250万円以上の工事完成検査後の合格通知書に記載される点数の平均値を採用しました。

(市長)

**問** 主観評価の項目改善は。

**答** 工事成績のみの採用から、格付け基準を環境認証取得、災害時応急対策、障害者雇用評価点と、指名停止の減点を追加して、企業努力を評価していきます。

(市長)

**問** Aランクの業者の指名最低金額の改善は。

**答** 年度ごとの市発注価格帯の統計を取り、各ランクの業者が出来るだけ入札機会が均等となるよう調整をしていきます。

(市長)



大石和央 議員

### 議会中継をインターネットで

**問** 議会審議の公開を、傍聴のほか、インターネットで中継・録画配信することを提案する。

**答** 市民は、映像により情報を得ることになります。より一層の開かれた市議会、議員及び執行側の緊張感あふれる熱のこもった市議会につながる、有効な手段であると考えます。  
また、導入するには、費用は中継と録画放送の場合、初年度は設備等構築費用に約250万円、次年度からは年間約100万円の経費が見込まれます。

### 浜岡原発プルサーマル問題

**問** 施政方針ではプルサーマルの導入について、「課題の整理を含めて、意見の取りまとめをしてみたい」とあるが、具体的にどのようなことか説明を求めます。

**答** プルサーマル実施については、安全をベースにした市民の安心感、これが確認されれば、容認しなければならぬと考えております。ただし、安全性については国や事業者に責任があり、一次・二次審査結果の説明を聞き、課題の見極めをしてみたいです。

**問** 安心感については、中部電力には市民の理解を得るよう要請するとともに、国に対して公開討論会の開催を求めてまいります。その結果については、議会とも相談しながら、意見を聴取してまいりたいと考えています。

**答** 市民の安心感の確認はどのように諮るのか。住民投票は、住民投票はやりません。

**問** 市民の安心感の確認はどのように諮るのか。住民投票は、住民投票はやりません。



市庁舎のロビーでも、市議会の中継を望む声が（イメージ写真）



鈴木勇次 議員

### 空港開港に向けた具体策を

**問** 空港開港まであと二年。新年度の空港対策予算は23パーセントの減だ。

**答** 今までの市の投資額と、建設の進捗率は。また、官民挙げての積極的な活用への取り組みが大切なのでは。

**問** 全体事業費1,900億円の内、進捗率は18年度末で約87パーセント、金額では19年度当初を合わせると1,760億円、榛原町時代からの市の投資額は、17年度末で約86億円です。

**答** 今後は、現実には空港の活用は市民や民間団体ですから、皆さんにそれぞれの立場で取り組んでいただき、市も牧之原市の特徴を生かした地域づくりを進めていきます。

### 光ファイバー通信の実現を

**問** 本市全域の、光ファイバー通信の実現の可能性はどうか。

ITの利用は、市民生活に欠かせない手段の一つとなっている



**答** 光ファイバー通信は、昨年5月に静波、細江まで敷設されており、利用者は640件です。

民間業者はあくまで採算主義で、不採算の場合は行政が多額になっても補助金の支出をすれば、市内全域の整備も不可能ではありません。

県でも昨年「光ファイバー整備市町連絡会」を立ち上げて取り組み始めており、若者の定住促進や企業活動へ貢献するためにも、財政状況を考えながら、実現に努力します。



笠原恒彦 議員

## 牧之原市大使の委嘱について

**問** 大使の目的は何か。また、現在何名いるのか。大使の役割、活躍等を市民にPRして、市の活性化に努めたらどうか。大使の委嘱について、条件はあるのか。

**答** 「静岡まきのはら大使」は、様々な機会を通じて市の魅力、情報等をPRしていただき、市のイメージアップを図ることを目的として、現在2人の方に委嘱しております。

大使の一人は、細江出身の大阪静岡県人会の会長で、茶商を営んでおられる只井保さんです。昨年は大阪城で行われたイベントで、牧之原茶のPRなどを行ってくださっています。

もう一人は、映画「ウォーターボーイズ」の生みの親の不破央さんで、各地の公演で市のPRをしていただいています。

大使委嘱の条件としては、全国各地で活躍する著名な地元出

身者や、市にゆかりのある文化人、スポーツマン、経済人等に市長が委託します。(市長)

## コミュニティバスの運行はいつから

**問** 19年度一般予算において、試験運行事業が予算化されているが、その内容について伺う。

**答** 試験運行期間は、10月から3月までの半年間を想定しており、今後、路線・運行方法などを検討していきます。

また、運輸局、県、バス事業者、地元代表、フォーラム代表等による牧之原市公共交通会議を設置し、地域の実情に即した輸送サービスのあり方と必要事項を協議し、実現に向け進めてまいります。(市長)



西原市長から不破さんに委嘱状が

## 常任委員会の報告

### ○経済建設委員会

委員長 榎林憲樹

昨年来の懸案事項だった補助事業の要綱改正問題は、議会定例会において鋭意検討審議した結果、このほど成案をみました。

「小規模土地改良事業」「道路改良事業」「小下排水路整備事業」の各補助事業の募集要項や補助金交付要綱の改定問題は、建設・農水担当部局の原案に、議会常任委員の検討意見も加味されました。

内容は、各事業の定義・受益者の定義から、補助金交付申請の仕方や、市と受益者の負担率など、各般にわたり事細かに定められ、事業の一層の円滑化が図られるよう改善されました。

新要綱は、従来のとかく曖昧だった点を改めて、厳正公平に運用されるよう、細部にわたり条件や基準が示されています。

この事業は、市民の皆さんの5戸以上が、共同利用する市道・農道・小排水路など、耕作や居住環境の早期改善を希望される場合に、これに対して市が

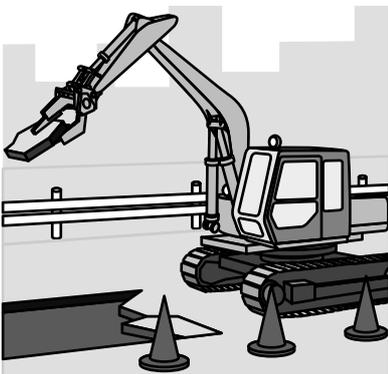
補助をする仕組みです。

前記のような共用場所の環境改善事業に、市が生コンやU字溝などの原材料費、設置に要する重機費などに限り、以下のような要領で進められます。

予算は年間2千万円ほどで、1件当たりは50万円前後が基準です。

昨年の申請は34件で採択は33件。年度始めに申請を受け、夏ごろ現地確認の上採択が決まり、秋から冬に地元受益者で施行された結果を担当課が確認し、年度末の3月に補助金が交付される仕組みです。

この改正要綱は、19年度から適用・施行されますので、希望される皆さんの一層のご利用を期待します。



## 特別委員会の報告

### ○産業振興特別委員会

委員長 名波富幸

産業振興特別委員会が、議員12人の構成で設置され、2月19日に第1回の特別委員会を開催しました。

### 委員会の目的

富士山静岡空港の開港を2年後に控え、空港の利活用をいかにして図り、地元産業の振興と結び付けていくか。

また、スズキ(株)の小型車生産工場の進出決定に伴う雇用対策、土地利用、道路網の整備と安全対策、定住人口増のための住宅対策等、市民の立場に立った対応策を研究する。

そして、地域産業の活力アップと新しい産業の創出、観光産業の振興、優良企業の誘致について調査研究をしていく。

会議では、以下のとおり担当課長から説明があり、その後協議に入り、活発な意見交換を行いました。

### スズキ(株)の現状について

モータープール移設に伴う用地拡充については、萩間地区協議会の説明を経て、地元中里地区へ説明を行った。

説明会においては、市当局のこの事業の進め方、地域の安全安心の確保、税金対策等の質問があった。これから企業立地適地調査の範囲を出し、地域の方に説明し協力をいただくことで了解してもらった。

また、スズキ(株)関連会社の工場団地構想の候補地である東萩間地区へも経過説明を行い、文化財調査を了解してもらった。

### 工場団地の現状について

白井工業団地13区画のうち、2月19日、食品物流会社(株)昭和と契約した。残り3区画も内諾はいただいているので、早期に決めていきたい。

坂口工業団地には1区画残っている。

今後、既存企業やスズキ(株)と商工会関係者等と意見交換する場を持ち、種々の仕掛けを構築しながら調査研究に努めていく。

### ○原子力対策特別委員会

委員長 鷲坂隆夫

原子力対策特別委員会は、浜岡原子力発電所の周辺市として、地域発展と住民福祉向上のため、原子力発電に対する諸問題に取り組んでいく必要から、当初は、議員全員で構成し、平成18年12月20日に設置した。

### 委員会の目的

①原子力発電環境安全対策に関する事項  
②地域格差の是正に関する事項の調査・研究を行う

### ▽平成18年12月25日

・今後の委員会の進め方について検討した。  
・原子力対策における当局の現状を把握した。

### ▽平成19年1月11日

・浜岡原子力発電所で、5号機タービン破損状況を視察  
中電からは対策として、「圧力プレートを設置し、運転を再開したい。」と説明があった。

### ▽平成19年1月22日

・産業振興特別委員会が設置さ

れたため、原子力対策特別委員会の定数を22人から10人とした。

### ▽平成19年2月1日

・御前崎市で行われた「原子力防災訓練」を、議員全員で視察した。

### ▽平成19年2月8日

《協議内容は次のとおり》  
・安全協定について勉強会を開催していく。  
・プルサーマル計画1次審査結果の説明を求める。

・耐震設計審査指針説明会について開催方法を検討した。

### ▽平成19年2月15日

《議員全員が参加》

・安全確保の協定書の研究  
・中電からのプルサーマル計画1次審査結果の説明を受けた。

### ▽平成19年2月27日

《行政も参加し、議員全員が経済産業省原子力安全・保安院から次の点の説明を受けた。》  
・保安院の概要について  
・耐震指針改定に伴う、国の対応について

今後、事故が発生しないように万全の対策を講ずるよう、中部電力に対し要望していきたい。



LNG (天然ガス) 供給基地 (御前崎港) 建設計画に向けて大阪ガス(株)(大阪府高石市)を視察し、説明を聞いた。



国道473号バイパスの早期整備完了を、望月義夫国交副大臣に要望する市議会メンバーら



新装になった相良総合センター「い〜ら」を内覧する議員団

## 6月定例会の日程

6月4日(月) 提案説明

11日(月)・12日(火) 一般質問

13日(水) 一般質問予備

15日(金) 本会議

22日(金) 最終日

ぜひ、傍聴にお出掛け下さい。

相良庁舎4階議場 9:00～

くわしいことは 議会事務局へ  
電話 53-2650

### 議会広報特別委員会

委員長  
副委員長  
委員

田村 兼夫  
太田 佳晴  
鈴木 勇次  
笠原 恒彦  
鈴木千津子

鳥のさえずりもにぎやかに、目にもあざやかな春爛漫となり、お茶に、田んぼにと皆様におかれましてはお忙しい事と思います。

牧之原市も新しいまちづくりに向けて幸福実現都市、ふれあいビタミンあのまちうみ・そら・みどりと共に生きるうとして第一次牧之原市総合計画がいよいよスタートします。私達市議会も「住んでいて良かった」といえる牧之原市を目指して、皆様と共に頑張る参ります。

「市議会だより」の刊行に当たりましては一人でも多くの市民の皆様にご覧いただき、お読みいただける内容を中心掛けて参りましたが、今後も親しみ易く内容の濃い紙面となりますよう、皆様方からのお声をお待ちしております。

今後ともよろしくお願いいたします。

### 編集後記



牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されます。

〒421-0592 牧之原市相良275番地 電話0548 (53) 2650 FAX 0548 (52) 1116

牧之原市ホームページ <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp> 市議会メールアドレス [gikai@city.makinohara.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.makinohara.shizuoka.jp)

「まきのほら市議会だより」は古紙率100%の再生紙を使用しています。R100